
令和6年度

人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

人吉市監査委員

人監第163号
令和7年10月6日

人吉市藍田財産区管理者
人吉市長 松岡隼人様

人吉市監査委員 井上祐太

人吉市監査委員 豊永貞夫

令和6年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和6年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算及び附属書類の審査を行ったので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

目 次

第 1	審査の対象	2
第 2	審査の期間	2
第 3	審査の方法	2
第 4	審査の結果	2
第 5	審査の概要	3
1	決算の総括	
(1)	決算収支の状況	3
(2)	歳入の状況	4
(3)	歳出の状況	6
第 6	財産に関する調書	8
	審査のむすび	10

令和 6 年度人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

1 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

(1) 令和 6 年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算

2 付属資料

(1) 令和 6 年度 人吉市藍田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書

(2) 令和 6 年度 人吉市藍田財産区特別会計実質収支に関する調書

(3) 令和 6 年度 人吉市藍田財産区財産に関する調書

第 2 審査の期間

令和 7 年 9 月 8 日から令和 7 年 9 月 1 9 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類（歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）について、関係法令に準拠して作成されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係帳簿及び証拠書類との調査照合を行い、必要に応じて関係職員の説明、参考書類の提出を求め、定期監査、例月出納検査等の結果を参考として、各計数の正確性について審査を行った。

第 4 審査の結果

1 審査に付された歳入歳出決算書及びその他の書類は、関係法令に準拠した様式で作成されており、また、決算計数も関係帳簿と照合した結果正確であり、当年度における決算を適正に表示しているものと認めた。

2 令和 7 年 5 月末日における令和 6 年度歳計剰余金（歳入歳出差引額）は、金融機関が発行した預金残高証明書と照合した結果一致した。

第5 審査の概要

1 決算の総括

(1) 決算収支の状況

(単位:円、%)

区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
(1)歳入総額	58,313,045	54,427,582	3,885,463	7.1
(2)歳出総額	39,692,951	42,526,694	△ 2,833,743	△ 6.7
(3)歳入歳出差引額	18,620,094	11,900,888	6,719,206	56.5
(4)翌年度繰越財源	0	0	0	
(5)実質収支	18,620,094	11,900,888	6,719,206	56.5
(6)単年度収支	6,719,206	△ 1,705,572	8,424,778	△ 494.0
(7)積立金	121,051	6,033	115,018	1,906.5
(8)積立金取崩し額	2,000,000	2,000,000	0	0.0
(9)実質単年度収支	4,840,257	△ 3,699,539	8,539,796	△ 230.8

当年度の決算規模は、上記のとおりで、歳入総額 58,313,045 円、歳出総額 39,692,951 円、歳入歳出差引額は 18,620,094 円となっており、前年度に比べ歳入は 3,885,463 円(7.1%)増加、歳出は 2,833,743 円(6.7%)減少している。決算収支の状況は、歳入歳出差引額(形式収支)、実質収支はいずれも 18,620,094 円となっている。

また、この額から前年度実質収支 11,900,888 円を差し引いた単年度収支は 6,719,206 円の黒字となり、さらに、この単年度収支に黒字要素の財政調整基金積立金 121,051 円を加え、赤字要素の財政調整基金繰入金 2,000,000 円を控除した実質単年度収支は 4,840,257 円の黒字となっている。

【参考】

※単年度収支の考え方

当年度の実質収支と前年度の実質収支の差であり、当該年度だけの収支を把握するための指標である。

■要点1 当年度単年度収支が黒字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には当該年度に新たな剰余を生じたことを意味し、赤字の場合には過去の赤字を解消したことになる。

■要点2 当年度単年度収支が赤字の場合

前年度の実質収支が黒字の場合には過去の剰余金の食いつぶしであり、赤字の場合には赤字額が増加したことを意味する。

(2) 歳入の状況

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R06	49,220,000	58,313,045	58,313,045	0	0	118.5%	100.0%
R05	54,434,000	54,427,582	54,427,582	0	0	100.0%	100.0%
増減	△ 5,214,000	3,885,463	3,885,463	0	0		

➡収入済額は、前年度に対し、3,885,463 円（7.1%）増加している。

➡歳入の内訳は、審査資料第1表、第2表のとおりである。

➡なお、款別の内訳は以下のとおりである。

1 款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R06	13,230,000	13,451,080	13,451,080	101.7%	100.0%
R05	10,073,000	10,074,200	10,074,200	100.0%	100.0%
増減	3,157,000	3,376,880	3,376,880		

➡収入済額は、前年度に対し 3,376,880 円（33.5%）増加している。増の要因は、森林環境保全整備事業等補助金である。

2 款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
R06	15,514,000	15,620,859	15,620,859	0	0	100.7%	100.0%
R05	28,505,000	28,501,645	28,501,645	0	0	100.0%	100.0%
増減	△ 12,991,000	△ 12,880,786	△ 12,880,786	0	0		

➡収入済額は、前年度に対し 12,880,786 円（45.2%）減少している。減の主な要因は、財産売却収入のうち素材売却収入などである。

➡収入未済額はなかった。

資料

(ア) 財産の貸付状況

NO	名 称	契約件数	金額（円）	備考
1	一般貸付	9	74,475	
2	企業貸付	10	751,428	ソフトバンクモバイル(株)、(株)NTTドコモ九州支社 外
3	公共貸付	3	419,790	人吉市(梅園及び駐車場)、人吉警察署
4	九州電力送配電(株)熊本支社	2	262,968	
5	九州電力送配電(株)人吉配電事業所	3	101,089	
6	西日本電信電話(株)熊本支店	1	45,450	
7	九州電力(株)人吉営業所	1	2,160	二次占用
合 計		29	1,657,360	

(イ) 素材生産販売委託事業実績

委託 番号	所 在 地			樹 種 (林齢)	面 積 (ha)	材 積 (m³)	売上金額 A	素材生産販売 委託事業費 B	組合、市場 手数料 C	藍田財産区有林整備 事業（間伐・搬出） 委託料①	森林環境保全整備 事業費補助金 ②	単独継足分 ①-② D	純 利 益 A-B-C-D
	字	林 班	小 班										
4	大葉山 4808-4	32	60,62,64, 75,86,87, 101小班	杉・桧 (62)	AB材 20.41のうち 14.07	723.392	13,842,426	2,228,047	1,522,666	9,903,000	6,734,040	3,168,960	6,922,753

3 款 繰入金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R06	8,450,000	8,439,300	8,439,300	99.9%	100.0%
R05	2,019,000	2,019,000	2,019,000	100.0%	100.0%
増減	6,431,000	6,420,300	6,420,300		

➡収入済額は、前年度に対し 6,420,300 円 (318.0%) 増加している。増の要因は、一般会計繰入金（公有林整備事業債分）である。

4 款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R06	11,900,000	11,900,888	11,900,888	100.0%	100.0%
R05	13,606,000	13,606,460	13,606,460	100.0%	100.0%
増減	△ 1,706,000	△ 1,705,572	△ 1,705,572		

➡収入済額は、前年度に対し 1,705,572 円 (12.5%) 減少している。

5 款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	
				対予算	対調定
R06	126,000	8,900,918	8,900,918	7,064.2%	100.0%
R05	231,000	226,277	226,277	98.0%	100.0%
増減	△ 105,000	8,674,641	8,674,641		

➡収入済額は、前年度に対し 8,674,641 円 (3,833.6%) 増加している。増の主な要因は、分収造林分収金（県有林帰坂団地）8,552,500 円などである。

(3) 歳出の状況

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額	執行率
					対予算
R06	49,220,000	39,692,951	0	9,527,049	80.6%
R05	54,434,000	42,526,694	0	11,907,306	78.1%
増減	△ 5,214,000	△ 2,833,743	0	△ 2,380,257	

➡支出済額は前年度と比べ、2,833,743円(6.7%)減少している。

➡不用額は前年度と比べ、2,380,257円(20.0%)減少している。

1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R06	4,629,000	4,195,584	0	433,416	90.6%
R05	5,486,000	5,469,093	0	16,907	99.7%
増減	△ 857,000	△ 1,273,509	0	416,509	

➡支出済額は、前年度に対し1,273,509円(23.3%)減少している。

➡減の主な要因は、議員研修関連経費(旅費及びバス借上料)などである。

➡不用額の主なものは、研修旅費及びバス借上料などである。

2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R06	1,958,000	1,561,916	0	396,084	79.8%
R05	1,877,000	1,586,202	0	290,798	84.5%
増減	81,000	△ 24,286	0	105,286	

➡支出済額は、前年度に対し24,286円(1.5%)減少している。

➡不用額の主なものは、需用費(消耗品費等)174,057円などである。

3 款 財産費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R06	31,157,000	30,204,268	0	952,732	96.9%
R05	31,765,000	31,319,664	0	445,336	98.6%
増減	△ 608,000	△ 1,115,396	0	507,396	

➡支出済額は、前年度に対し1,115,396円(3.6%)減少している。

➡減の主な要因は、財産管理費のうち素材生産販売委託料、財産造成費のうち委託料(間伐)などである。

資料

(ア) 財産管理費の内訳

区分			金額	備考
1	物件費	需用費	40,116	公用車燃料費
		委託料	5,350,713	素材生産販売委託料等
		使用料及び賃借料	1,709,730	重機借上料
		原材料費	541,310	山ズリ購入費
		小計（A）	7,641,869	
2	住民等への補助	負担金、補助及び交付金	669,900	藍田財産管理協力会交付金（大畑小学校創立150周年記念事業実行委員会など）
			1,250,000	
		小計（B）	1,919,900	
3	その他	需用費（修繕料）	9,669	公用車修繕料
		役務費（保険料）	22,660	公用車損害共済金等
		小計（C）	32,329	
合 計（A）+（B）+（C）			9,594,098	

※藍田財産管理協力会交付金の内訳 (団体運営費 7 件分 669,900 円、大畑小学校創立 150 周年記念事業実行委員会外 1 件分 1,250,000 円)

(イ) 財産造成費の内訳

(単位: 円)

区分		金額	備考
投資的経費等	委託料 (下刈)	1,800,000	森林環境保全整備事業 (東大塚町字横尾外)
	委託料 (間伐)	9,903,000	森林環境保全整備事業 (矢岳町字大葉山)
	委託料 (人口造林)	5,272,000	森林環境保全整備事業 (大畑町字尾長崎)
	委託料 (防護柵)	2,851,000	森林環境保全整備事業 (大畑町字尾長崎)
	負担金 (作業道開設)	703,280	森林環境保全整備事業 (東大塚町字土江)
	事務費 (保険料)	80,890	
合 計		20,610,170	

4 款 諸支出金

(単位: 円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R06	3,801,000	3,731,183	0	69,817	98.2%
R05	4,161,000	4,151,735	0	9,265	99.8%
増減	△ 360,000	△ 420,552	0	60,552	

➡支出済額は、前年度に対し 420,552 円 (10.1%) 減少している。

➡減の主な要因は、一般会計繰出金 (藍田財産区議会議員選挙費) などである。

5 款 予備費

(単位: 円)

年度	当初・補正予算額	予備費充当額	翌年度繰越額	不用額	執行率
R06	7,915,000	240,000	0	7,675,000	
R05	11,227,000	82,000	0	11,145,000	
増減	△ 3,312,000	158,000	0	△ 3,470,000	

➡予備費充当額は 240,000 円である。款別の充当額は、財産費が 236,000 円などとなっている。

第6 財産に関する調書

令和6年度における財産増減状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

① 土地

(単位：㎡)

区分	R O 5 年度末現在高	増減	R O 6 年度末現在高
行政財産	0	0	0
普通財産	13,944,866	0	13,944,866
合計	13,944,866	0	13,944,866

➡ 当年度土地の増減はなく、当年度末現在高は 13,944,866 ㎡となっている。

② 建物

(単位：㎡)

区分	R O 5 年度末現在高	増減	R O 6 年度末現在高
行政財産	0	0	0
普通財産	313	0	313
合計	313	0	313

➡ 当年度建物の増減はなく、当年度末現在高は 313 ㎡となっている。

(2) 山林

① 面積

(単位：㎡)

区分	R O 5 年度末現在高	増減	R O 6 年度末現在高
所有	10,320,646	△ 4,201	10,316,445
分収	3,341,712	0	3,341,712
貸付	93,808	4,201	98,009
合計	13,756,166	0	13,756,166

➡ 山林面積の内訳は、一般及び企業への新規貸付等により貸付面積が 4,201 ㎡増加し、所有面積が減となった。山林面積は前年度末現在高と同じ 13,756,166 ㎡となっている。

② 立木推定蓄積量

(単位：㎡)

区分	R O 5 年度末現在高	増減	R O 6 年度末現在高
所有	421,935	5,215	427,150
分収	113,039	2,611	115,650
※上段が全体蓄積量、下段が財産区分	27,517	577	28,094
貸付	0	0	
合計	113,039	2,611	115,650
	449,452	5,792	455,244

➡ 立木推定蓄積量の増は、所有及び分収いずれも成長量による増である。

➡ ②表中の分収・合計欄は、分収林の全体蓄積量を上段とし、下段に財産区分（合計欄は所有含む。）を記入した。

(3) 出資による権利

(単位：千円)

区 分		Ｒ０５年度末 現在高	増減	Ｒ０６年度末 現在高
くま中央森林組合	出資金	2,674	0	2,674

➡出資による権利の当年度末現在高に変動はなく、くま中央森林組合への出資金 2,674 千円となっている。

2 物品

(単位：台)

区分	Ｒ０５年度末現在高	増減	Ｒ０６年度末現在高
物品	1	0	1

➡物品は、「人吉市物品会計規則」第３条第２項の規定に基づき、取得価格又は取得評価額が１点５０万円以上の物品の合計額とした。

<車両保有状況>

(単位：台)

車種区分	Ｒ０５年度末 現在高	増減	Ｒ０６年度末 現在高
普通乗用車（エクストレイル）	1	0	1
合計	1	0	1

➡車両保有状況については表記のとおりである。

3 基金

(1) 財政調整基金

(単位：千円)

区分	Ｒ０５年度末 現在高	増減	Ｒ０６年度末 現在高
預金	201,929	△ 1,879	200,050
合計	201,929	△ 1,879	200,050

(2) 繰出金調整基金

(単位：千円)

区分	Ｒ０５年度末 現在高	増減	Ｒ０６年度末 現在高
預金	1,128	△ 39	1,089
合計	1,128	△ 39	1,089

➡基金の当年度末現在高については表記のとおりである。

審査のむすび

令和６年度の人吉市藍田財産区特別会計の決算は前述のとおりである。

１．概要

藍田財産区の山林面積は、令和６年４月現在の本市の山林面積 15,941ha の約 8.6%に当たる 1,376ha となっている。この内、経営計画面積（直営林）は 1,052.07ha で、その内訳は、人工林 795.76ha、天然林 243.85ha、竹林 2.38ha、その他 10.08ha となっている。

当年度の財産管理に関しては、素材生産販売委託事業として素材（材積 723.392 m³）を販売したほか、同様に継続事業として、区有林内の事故、盗伐防止のための区有林巡視業務委託事業が実施されている。また、藍田財産管理協力会交付金として、藍田地区の各団体連絡協議会運営費等 9 件の交付が行われており、その内訳は、団体運営費交付金（7 団体）669,900 円、大畑小学校創立 150 周年記念事業実行委員会外 1 件 1,250,000 円の合計 1,919,900 円（前年度 1,938,800 円）となっている。

なお、財産造成事業に関しては、当年度、経営計画に基づく間伐（矢岳町字大葉山）及び下刈り（東大塚町字横尾外）などに取り組んだ。

２．歳入及び歳出

次に、当年度の歳入歳出についてみると、歳入は前年度に対し 3,885,463 円（7.1%）増加している。これは、素材売払収入が 12,973,809 円（48.4%）の減、森林環境保全整備事業等補助金 3,376,880 円及び分収造林分収金 8,552,500 円の増が主な要因となっている。

また、歳出は、前年度に対し 2,833,743 円（6.7%）減少している。これは、議会費のうち議員研修関連経費及び財産費のうち委託料（素材生産販売）の減などが主な要因と考えられる。

３．所見

森林・林業基本法は、モントリオールプロセス等の国際的な文脈を踏まえながら、「森林の有する多面的機能の持続的な発揮」という表現で、「持続可能な森林経営」を位置付けており、森林・林業基本計画においても、林業が森林生態系の生産力に基礎を置いていること、今後の森林の整備・保全に当たって生物多様性保全の考え方を踏まえることなどが強調されている。

また、国は、森林・林業基本法及び森林・林業基本計画の理念において、木材生産だけを追求するのではなく、持続可能な森林経営の実現を基本としていることから、これからの地域の森林・林業の構想については、この点を十分に踏まえながら進めていかなければならないことはいふまでもない。

よって、今後の財産区の経営に際し、厳しい現状を再認識するとともに、経営計画を基本とするきめ細かな森林計画のもと、積極的な財産形成及び財産の有効利用はもとより健全な財政運営を損なうことのないよう、併せて、財産の管理及び処分についても、地方自治法に定められた財産区の基本原則を認識し、的確な事務処理に努められたい。また、山林関係に携わるエキスパート職員の不足を憂い、専門的知識を持った人材の確保は喫緊の課題であることを申し添えておく。

これまでの藍田財産区の歩みを振り返ると、明治 43 年の藍田村誕生時の村有林を経て、昭和 17 年 2 月 11 日の市制施行時に藍田財産区を創設、以来、森林経営の益金を持って各地区の道路、架橋、水道施設、公民館、灌漑用水路、消防設備の整備、改良など多方面にわたり地域を支えてきた。特に、祝賀の 150 周年記念を迎えた明治 7 年開校の大畑小学校をはじめ、旧藍田村の小・中学校への貢献は多大である。このことは、約 83 年の間に、1,376ha の面積を有す特別地方公共団体として、スギ、ヒノキ、クヌギの育成だけでなく、多くの子供たちの育成、さらには教育に寄与してきたという特筆すべき公益性を立証するもので、市の最大課題である復興の一助になるものと深く期待をするところである。

審查資料

第 1 表	歲入歲出決算總括表	1 2
第 2 表	歲入決算年度比較表	1 3
第 3 表	歲出決算年度比較表	1 4
第 4 表	性質別分類比較表	1 5
第 5 表	節別分類比較表	1 6

第1表

歳入歳出決算総括表

(歳入)

(単位:円)

区別 款別	当初予算額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
県支出金	10,291,000	2,939,000	13,230,000	13,451,080	13,451,080	0	0
財産収入	25,043,000	△ 9,529,000	15,514,000	15,620,859	15,620,859	0	0
繰入金	6,550,000	1,900,000	8,450,000	8,439,300	8,439,300	0	0
繰越金	5,000,000	6,900,000	11,900,000	11,900,888	11,900,888	0	0
諸収入	6,000	120,000	126,000	8,900,918	8,900,918	0	0
合計	46,890,000	2,330,000	49,220,000	58,313,045	58,313,045	0	0

(歳出)

(単位:円)

区別 款別	当初予算額	補正予算額	予算現額	予備費支出及び び流用増減	予算現額	支出済額	不用額
議会費	4,629,000	0	0	0	4,629,000	4,195,584	433,416
総務費	1,958,000	0	0	0	1,958,000	1,561,916	396,084
財産費	31,067,000	△ 146,000	△ 146,000	236,000	31,157,000	30,204,268	952,732
諸支出金	3,465,000	332,000	332,000	4,000	3,801,000	3,731,183	69,817
予備費	5,771,000	2,144,000	2,144,000	△ 240,000	7,675,000	0	7,675,000
合計	46,890,000	2,330,000	2,330,000	0	49,220,000	39,692,951	9,527,049

第2表

歳入決算年度比較表

(単位：円・%)

区 分 款 別	年 度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額に 対する増減	予算現額 対収入 済額比	調 定 額 対 済 額 比	収 入 済 額	
										構 成 比	前 年 対 比
県 支 出 金	R04	9,070,000	9,069,160	9,069,160	0	0	△ 840	100.0	100.0	16.0	△ 21.7
	R05	10,073,000	10,074,200	10,074,200	0	0	1,200	100.0	100.0	18.5	11.1
	R06	13,230,000	13,451,080	13,451,080	0	0	221,080	101.7	100.0	23.1	33.5
財 産 収 入	R04	23,003,000	23,053,269	23,053,269	0	0	50,269	100.2	100.0	40.8	32.2
	R05	28,505,000	28,501,645	28,501,645	0	0	△ 3,355	100.0	100.0	52.4	23.6
	R06	15,514,000	15,620,859	15,620,859	0	0	106,859	100.7	100.0	26.8	△ 45.2
繰 入 金	R04	3,014,000	2,980,565	2,980,565	0	0	△ 33,435	98.9	100.0	5.3	△ 70.2
	R05	2,019,000	2,019,000	2,019,000	0	0	0	100.0	100.0	3.7	△ 32.3
	R06	8,450,000	8,439,300	8,439,300	0	0	△ 10,700	99.9	100.0	14.5	318.0
繰 越 金	R04	11,403,000	11,403,385	11,403,385	0	0	385	100.0	100.0	20.2	20.4
	R05	13,606,000	13,606,460	13,606,460	0	0	460	100.0	100.0	25.0	19.3
	R06	11,900,000	11,900,888	11,900,888	0	0	888	100.0	100.0	20.4	△ 12.5
諸 収 入	R04	9,875,000	9,989,788	9,989,788	0	0	114,788	101.2	100.0	17.7	470.7
	R05	231,000	226,277	226,277	0	0	△ 4,723	98.0	100.0	0.4	△ 97.7
	R06	126,000	8,900,918	8,900,918	0	0	8,774,918	7,064.2	100.0	15.2	3,833.6
合 計	R04	56,365,000	56,496,167	56,496,167	0	0	131,167	100.2	100.0	100.0	12.5
	R05	54,434,000	54,427,582	54,427,582	0	0	△ 6,418	100.0	100.0	100.0	△ 3.7
	R06	49,220,000	58,313,045	58,313,045	0	0	9,093,045	118.5	100.0	100.0	7.1

第3表

歳 出 決 算 年 度 比 較 表

(単位：円・%)

区 分 款 別	年 度	予 算 現 額		支 出 決 算 額		不 用 額		執 行 率	前 年 度 対 比
		金	額	金	額	金	額		
議 会 費	R04	4,404,000			4,074,069		329,931	2.4	7.5
	R05	5,486,000			5,469,093		16,907	0.1	0.3
	R06	4,629,000			4,195,584		433,416	4.5	9.4
総 務 費	R04	6,102,000			5,283,516		818,484	6.1	13.4
	R05	1,877,000			1,586,202		290,798	2.5	15.5
	R06	1,958,000			1,561,916		396,084	4.2	20.2
財 産 費	R04	26,313,000			25,659,351		653,649	4.9	2.5
	R05	31,765,000			31,319,664		445,336	3.7	1.4
	R06	31,157,000			30,204,268		952,732	10.0	3.1
諸 支 出 金	R04	7,882,000			7,872,771		9,229	0.1	0.1
	R05	4,161,000			4,151,735		9,265	0.1	0.2
	R06	3,801,000			3,731,183		69,817	0.7	1.8
予 備 費	R04	11,664,000					11,664,000	86.5	100.0
	R05	11,145,000					11,145,000	93.6	100.0
	R06	7,675,000					7,675,000	80.6	100.0
合 計	R04	56,365,000			42,889,707		13,475,293	100.0	23.9
	R05	54,434,000			42,526,694		11,907,306	100.0	21.9
	R06	49,220,000			39,692,951		9,527,049	100.0	19.4

第4表

性質別分類比較表

(単位：円・%)

区分 性質別 年度別	決 算 額			構 成 比 率			す う 勢 指 数			前年度との増減	
	R06	R05	R04	R06	R05	R04	R06	R05	R04	金 額	増減率
人 件 費	4,172,533	4,122,226	6,009,974	10.5	9.7	14.0	69.4	68.6	100.0	50,307	1.2
物 件 費	8,457,505	16,742,633	11,490,959	21.3	39.4	26.8	73.6	145.7	100.0	△ 8,285,128	△ 49.5
投 資 的 経 費	19,826,000	14,815,000	15,164,200	50.0	34.8	35.4	130.7	97.7	100.0	5,011,000	33.8
繰 出 金	3,610,110	4,145,680	1,862,925	9.1	9.7	4.3	193.8	222.5	100.0	△ 535,570	△ 12.9
補 助 費 等	3,505,730	2,080,400	2,351,803	8.8	4.9	5.5	149.1	88.5	100.0	1,425,330	68.5
その他の経費	121,073	620,755	6,009,846	0.3	1.5	14.0	2.0	10.3	100.0	△ 499,682	△ 80.5
合 計	39,692,951	42,526,694	42,889,707	100.0	100.0	100.0	92.5	99.2	100.0	△ 2,833,743	△ 6.7

第5表

節 別 分 類 比 較 表

(単位：円・%)

節 別	区 分	令和6年度				令和5年度		令和4年度		増 減	
		予算現額	決算額(イ)	構成比率	不 用 額	決算額(ロ)	構成比率	決 算 額	構成比率	決 算 額 (イ)－(ロ)	前 年 度 対 比
1	報 酬	3,987,000	3,985,200	10.0	1,800	4,056,064	9.5	5,241,034	12.2	△ 70,864	△ 1.7
2	給 料	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
3	職 員 手 当 等	203,000	187,333	0.5	15,667	64,872	0.2	499,391	1.2	122,461	188.8
4	共 済 費	3,000	0	—	3,000	1,290	0.0	269,549	0.6	△ 1,290	皆減
8	旅 費	439,000	185,400	0.5	253,600	815,800	1.9	302,680	0.7	△ 630,400	△ 77.3
9	交 際 費	20,000	6,220	0.0	13,780	7,992	0.0	9,174	0.0	△ 1,772	△ 22.2
10	需 用 費	980,000	464,472	1.2	515,528	918,744	2.2	816,599	1.9	△ 454,272	△ 49.4
11	役 務 費	441,000	213,450	0.5	227,550	298,139	0.7	427,238	1.0	△ 84,689	△ 28.4
12	委 託 料	25,177,000	25,176,713	63.4	287	28,285,688	66.5	22,576,807	52.7	△ 3,108,975	△ 11.0
13	使用料及び賃借料	2,053,000	1,799,490	4.5	253,510	791,620	1.9	271,500	0.7	1,007,870	127.3
14	工 事 請 負 費					0	—	1,812,800	4.2	0	—
15	原 材 料 費	545,000	541,310	1.4	3,690	345,950	0.8	360,426	0.9	195,360	56.5
16	公 有 財 産 購 入 費	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
17	備 品 購 入 費	3,000	0	—	3,000	227,300	0.5	188,438	0.4	△ 227,300	皆減
18	負担金補助及び交付金	3,101,000	2,631,180	6.6	469,820	1,946,800	4.6	2,241,300	5.2	684,380	35.2
21	補償、補填及び賠償金	39,000	38,900	0.1	100					38,900	皆増
23	投 資 及 び 出 資 金	1,000	0	—	1,000	0	—	0	—	0	—
24	積 立 金	123,000	121,073	0.3	1,927	6,055	0.0	6,009,846	14.0	115,018	1,899.6
26	公 課 費	751,000	732,100	1.9	18,900	614,700	1.4	0	—	117,400	19.1
27	繰 出 金	3,677,000	3,610,110	9.1	66,890	4,145,680	9.8	1,862,925	4.3	△ 535,570	△ 12.9
28	予 備 費	7,675,000	0	—	7,675,000	0	—	0	—	0	—
	合 計	49,220,000	39,692,951	100.0	9,527,049	42,526,694	100.0	42,889,707	100.0	△ 2,833,743	△ 6.7

